

## 数論セミナー

2016年8月18日 木曜日 D814 16:00- 17:00

山岸 義和 (龍谷大学)

Disk packing on the logarithmic spiral lattice

対数螺旋格子は螺旋葉序の研究でよく用いられる。これについて、植物学者 van Iterson が 1907 年に考察した円板充填の分岐図は、ポロノイ分割の分岐図と重ね合わせるとき、双対グラフとなっていることを示す。その結果として、van Iterson の分岐図が Farey tree であることが証明される。また、平面の原点中心の回転と拡大について不変な距離関数が、この円板充填から構成される。